

ドミニカ共和国のタカタ大使が町を訪問されました



観光放流を視察する
タカタ大使(左から2番目)、小野澤町長

在日ドミニカ共和国大使館のロバート・ミキイ・タカタ・ピメンテル特命全権大使が11月10日、愛川町を訪れ、小野澤町長を表敬訪問されたほか、宮ヶ瀬ダムや大矢孝酒造、卵菓屋など、町内を視察されました。

懇談の中でタカタ大使は、「17歳から27歳までの約10年間に愛川町で過ごし、たくさんの経験をさせていただきました。大変愛着もありますし、大好きな町です。愛川町役場と町の方々に感謝を申し上げるとともに、今後も共に発展をしていくために、様々な協力ができればと考えています」とお話になり、小野澤町長からは「大使は10年間、愛川町で過ごされたということで、大



懇談の様子

変に親しみを感じております。今年は、ドミニカ共和国へ日本人が移住してから65周年となります。これを契機に、町としてもスポーツ・文化など色々な分野で一層連携を図りながら、フレンドシップを高めていきたいと思っております」とお伝えしました。

※タカタ大使は平成7年から約10年間、町内に在任し、神奈川県内陸工業団地内に立地する日本フルハーフ株式会社の関連会社で勤務されました。

第13回 愛川町子ども議会

町議会の本会議場で「愛川町子ども議会」を開催し、町内の小・中学生12人が登壇しました。

子ども議員たちは緊張した面持ちながら、学校教育や給食、観光客誘致や交通施策、イベント開催の提案など、幅広い分野の意見・要望を堂々と発表。小野澤町長や町幹部職員の答弁に、うなずきながら熱心に耳を傾けていました。



子ども議会の様子



皆さんから寄付をいただきました

明治安田生命保険相互会社 町田支社(小針宏之支社長)から、同社が進める「地域の元気プロジェクト」の一環である「私の地元応援募金」として、51万2,500円の寄付をいただきました。

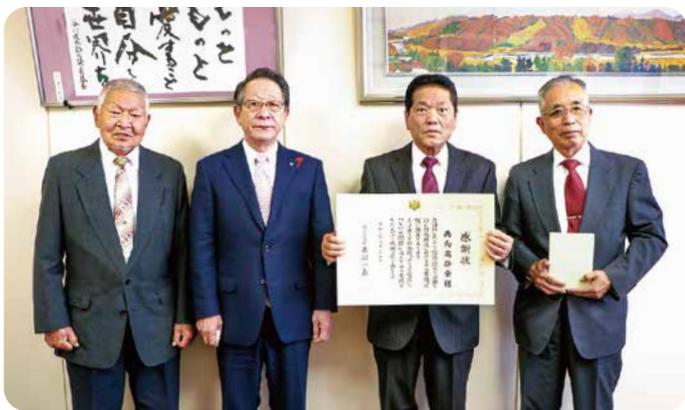
この募金は、明治安田生命グループ従業員の皆さんが、居住地や出身地といったゆかりある地域の団体に募金し、同社が寄付を上乗せして支援するものです。「町の福祉向上のために役立ててもらいたい」という同支社のご意向を受け、「ハートピア基金」に全額を積み立て、今後の社会福祉関連施策に活用します。

また、半原山頭妙寺檀信徒の皆さんからは10万円の寄付をいただきました。「新型コロナウイルス感染症対策のために使っていただきたい」というご意向を受け、「いのちを守る基金」に全額を積み立て、今後の感染症関連施策に活用します。

「みどりの愛護」功労者 国土交通大臣表彰

両向高砂会(中島良一会長)が、第32回「みどりの愛護」功労者国土交通大臣表彰を受賞し、小野澤町長から伝達が行われました。

同会は、「まち美化アダプト制度」に登録し、愛川ソーラーパーク周辺の定期的な清掃・除草・草花の植え付けを行っているほか、道路沿線にベンチを設置して地域の憩いの場をつくるなどの活動を行っており、その内容が評価され、今回の受賞となりました。



左から千明定雄前会長、小野澤町長、中島会長、佐藤憲司副会長

食品衛生事業功労者厚生労働大臣表彰

和菓子店「寿々喜菓子舗」さん(半原・鈴木隆夫代表取締役社長)が、「食品衛生事業功労者厚生労働大臣表彰」を受賞し、小野澤町長から伝達が行われました。

この表彰は、厚生労働省が毎年、食品衛生の分野で顕著な功績があった方の労をねぎらうとともに、優良な食品衛生施設を他の模範とすることを目的に行っているもので、同店はこの優良な施設として評価され、今回の受賞となりました。



鈴木代表取締役社長

令和3年度 愛川町福祉表彰

社会福祉に功績のあった方や町の福祉作文・ポスターコンクールの最優秀賞に入選した方など、9人1団体の皆さんを町から表彰しました。



また、民生委員児童委員や町社会福祉協議会役員、社会福祉事業施設などの従事者として長年務められている方や、ボランティア活動、社会福祉活動で功績のあった方など、21人4団体の皆さんが、町社会福祉協議会(萩原庸元会長)から表彰されました。



萩原会長からの表彰の様子

「税についての作文」 町内から4人が入選

税に対する意識の浸透拡大を図るため、国税庁と全国納税貯蓄組合連合会が募集した、「第55回 中学生の『税についての作文』」の入選作品が決まりました。

愛川町長賞

- 谷島 杏さん(愛川中原中3年)

愛川町教育委員会教育長賞

- 成田理紗さん(愛川東中3年)

厚木納税貯蓄組合総連合会優秀賞

- 土井優羽さん(愛川東中3年)

厚木納税貯蓄組合総連合会佳作

- 斎藤美鈴さん(愛川中3年)

